

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	学童デイサービスつづば		
○保護者評価実施期間	R8年 1月 16日 ～ R8年 2月 6日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30 (回答者数)	26
○従業者評価実施期間	R8年 1月 16日 ～ R8年 2月 6日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8 (回答者数)	
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 10日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	各種それぞれ専門職があり、季節にあった活動プログラムが充実している。	季節にあった活動に関しては先の見通しを立て、事前準備を念入りに行っている。専門職の様々な視点から活動内容に変化を加えている。	職員一人一人が定期的に研修会や他事業所との交流会に参加し、情報交換の場を設けている。また、SNS(ティックトック、Instagram等)を活用し毎月飽きのない活動の提供を行っている。
2	事業所に庭があり、十分に体を動かして遊べる環境が整っている。雨天時では室内でも体を動かして遊べるように環境を整えている。	外遊びや室内遊び用道具の定期的な点検や消毒作業を行い、ケガなく安全に過ごすことが出来るように環境を整えている。	児童発達支援管理責任者及び理学療法士による保護者様とのモニタリングの際、児童一人一人に見合ったトレーニングの提案を行い、個々の能力の引き出しを図っている。
3	職員の人数が多く連携がしっかり出来ており、児童の様々なケースに柔軟に対応することが出来る。	児童との関りを増やし職員に対して気軽に話し合える環境が作れるように職員一人一人が寄り添いながら支援に取り組める努力を行っている。	他事業所や相談支援専門員との連携、情報共有の徹底をしていることから、児童の課題や対応方法を密に話し合える環境が作れている。定期的な支援会議の開催。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	天井からの雨漏りがある。	建物の老朽化。築年数の古さ。	事業所の移転検討。
2	肢体不自由の児童もいるが非バリアフリーな為、介助量に限界がある。	一般的な民家、借家の為、バリアフリー化が困難。	ポータブルトイレの設置等、児童の過ごしやすい環境を出来ることから取り組んでいく。
3	夏休み期間中は職員の熱中症症状があり体調面でのリスクが考えられる。	築年数の古さにより気密性が低くエアコンの冷気が逃げてしまう。南東向きにガラスが多く遮熱が出来ておらず、室温が上がる一因となっている。	エアコンの新設。事業所の移転検討。